OWL-EGP35/EU　シリーズ　取扱説明書　【EU】

この度は弊社製品をご購入頂き、誠に有難うございます。本製品を正しくお使い頂く為に、ご使用前に必ず本説明書を御一読下さい。また本取扱説明書の末尾に保証書が付いておりますので、ご購入された年月日が特定できるレシートなどと共に、紛失しないよう大切に保管して下さい。

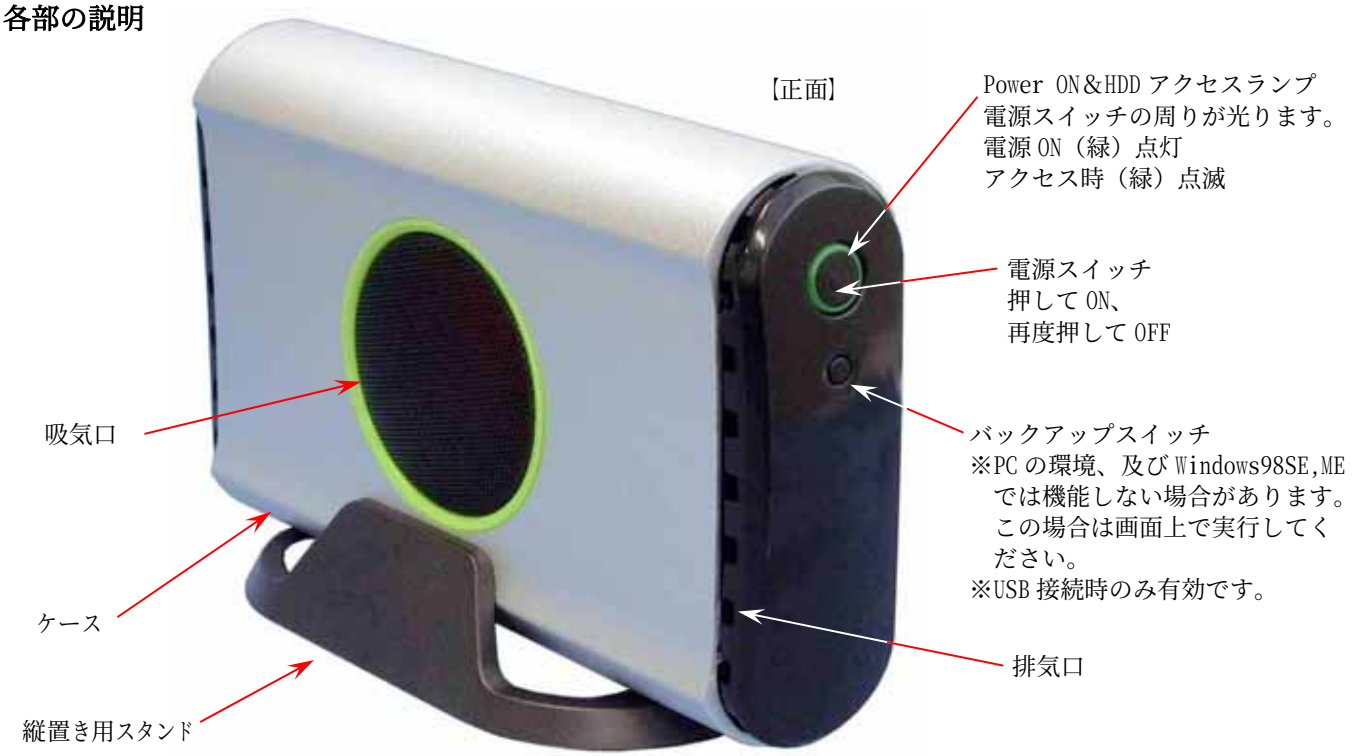
【注意】

★本説明書では、External Serial ATA（外付け用のシリアルATA）を略し、eSATAと表現します。
★eSATAインターフェイスは、現在Windows2000/XP/Vistaのみのサポートとなっています、従いましてその他の環境下での動作保証はしていません。
（WindowsME,98SE及びその他のOSでもeSATAインターフェイスが動作する環境であればご利用可能です）
★本製品のハードウェア及びソフトウェアは、全てのPC環境への適合を保証するものではありません。又データの消失や破損に付きましても保証の対象外となります。大切なデータは必ずバックアップをしてください。
★本製品は改善のため予告無く製品の仕様を変更する場合がありますので予めご了承下さい。
★本説明書は、ハードディスクドライブをHDD、パーソナルコンピュータをPCと表現しています。同様にその他の名称も略称で表現しています。
★安全規格上、付属のDC電源アダプタは本製品専用となっておりますので、他の製品への流用、又は他製品からの流用はできません。

1．付属品（生産時期やロットによって付属品が変更になる場合が有ります）

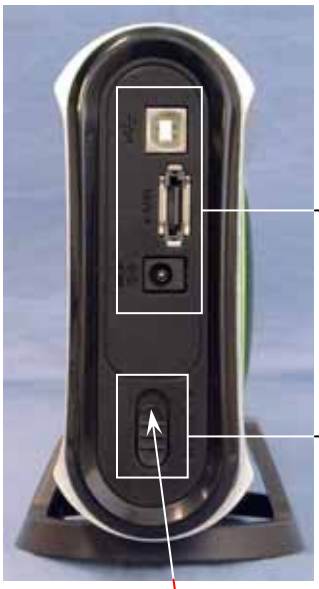
取扱説明書兼保証書（本書）	1枚
eSATA 接続ケーブル	1本
SATA to e-SATA変換ケーブル(PCIブラケット付)	1本
USB 接続ケーブル	1本
縦置き用スタンド	1台
AC電源アダプタ	1台
バックアップアプリケーション及びドライバCD	1枚

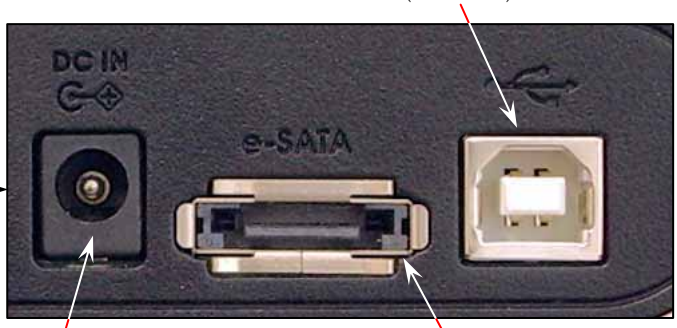
2．各部の説明



※　本製品の電源は、パソコンの電源と連動して ON/OFF します。電源スイッチが ON になっている場合でも、パソコンが本製品を認識していない状態では、本製品の電源は ON になりません。（ファンが回転しません）
本機能により、本製品の電源を切り忘れることがないため、無駄な電気を節約することが可能です。

【背面】

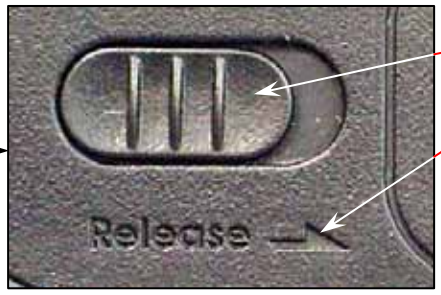




USB（タイプ B)ポート

DC 電源ジャック

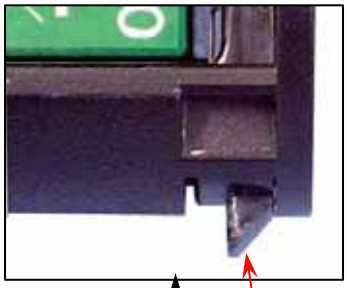
eSATA ポート



フレームロック Release レバー
（写真はロック状態です）

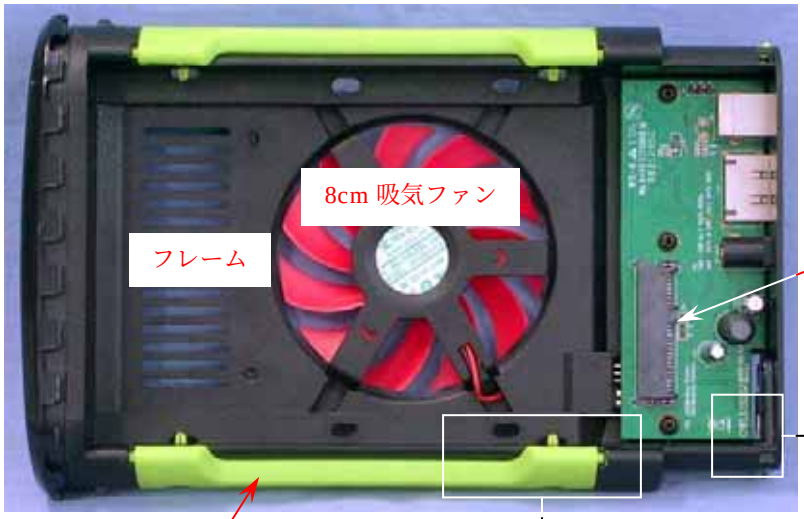
Release 方向にスライドさせロックを
解除します。

ケースよりフレームを取出す方法は、右上の様に
ロックを解除して、この部分を押します。そうす
る事で前方にフレームが出て行きます。
【注意】ロック解除がされないまま、強く押しま
すと本製品が破損します。



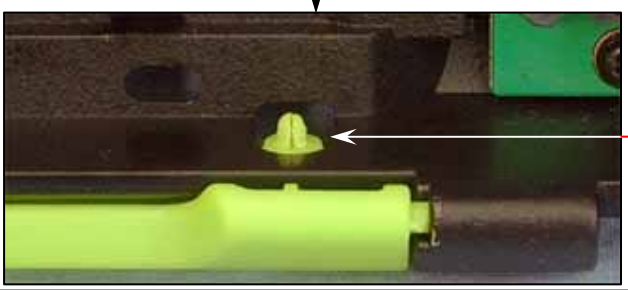
フレームロック

【内部】



SATA コネクタ

HDD ロックアーム



HDD ロックピン

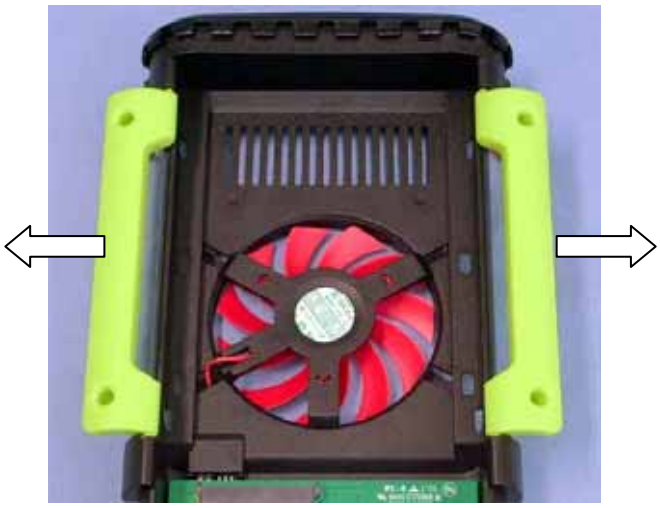
HDD ロックピンは、全ての HDD 固定穴との適合を保証するものではありません。もし穴位置が合わない場合はこの部分をニッパーなどで切断し、市販の HDD 固定用ネジをお買い求めの上、裏面よりネジで固定をしてください。
このピンは無理やり挿入するとピンが破損します。この様にして破損した場合は保証の対象外になります。

3．ハードウェアの組込み

本製品は SATA 接続 3.5”HDD を、1台搭載することが可能です（本製品にHDDは付属しておりません）

3－1、HDD組込み

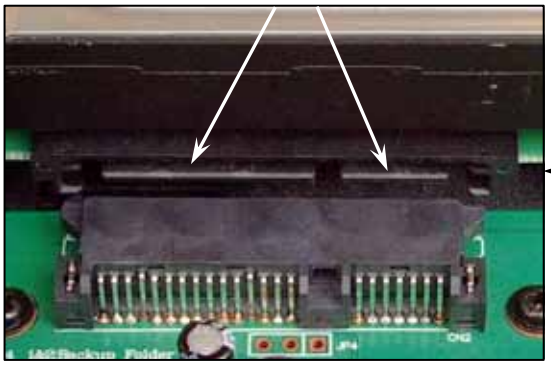
①ケースよりフレームを取出し、両サイドの HDD ロックアームを広げます。



②HDD を前面に合わせ、慎重にフレーム上に置きます（落下などの衝撃を与えないように）

この面に合わせます。

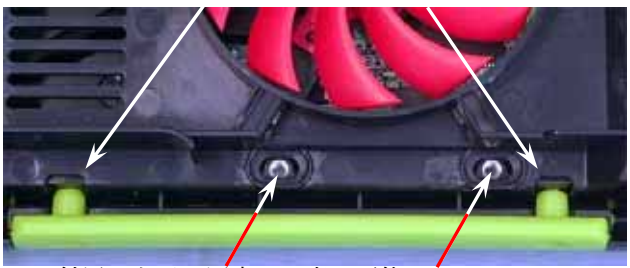
③HDD と PCB 双方の SATA コネクタの位置が合っていることを確認します。



④HDD を矢印の方向にスライドし、SATA コネクタを勘合します。

⑤両サイドのHDDロックアームを閉じ、HDD を固定します。

⑥全体を裏返して、HDD ロックピンが正しく挿入されていることを確認します。



HDD 付属のネジで固定する事も可能です。ロックピンを破損した場合などはネジで固定してください。（市販の 3.5”HDD 用ネジをお求めください）

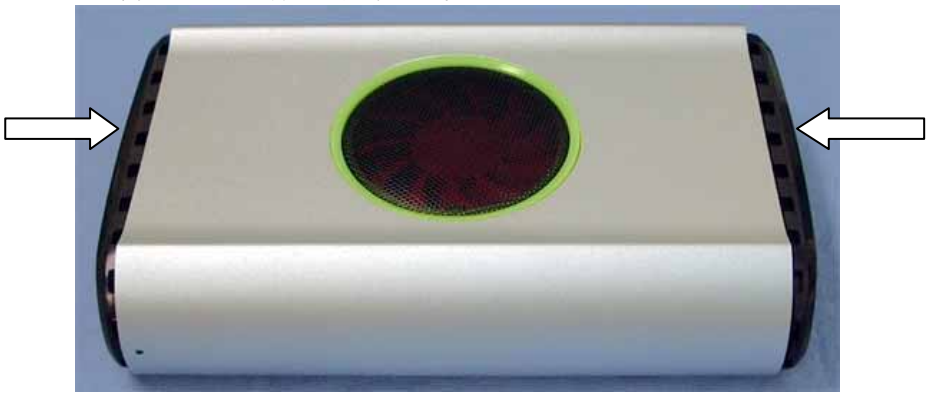
⑦ケースに元通りに挿入します。

⑧挿入の際、排気口付近の段差に注意して挿入してください。

この位置までケースに入ります。

注意：吸気口（メッシュ部分）は押さないでください。吸気口の位置がずれる場合があります。位置がずれたまま HDD を挿入すると、破損の恐れがあります。

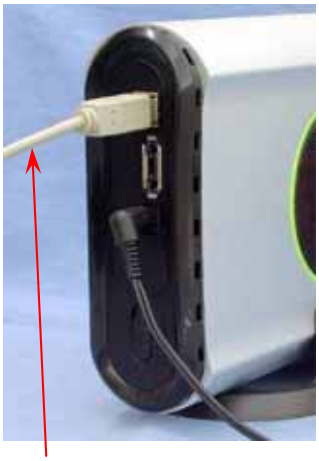
⑨最後にフレームロックが掛かるまで、両サイドから押して完了です。



この位置でフレームがロックされます。

USB 接続

パソコンの USB ポートへ接続します

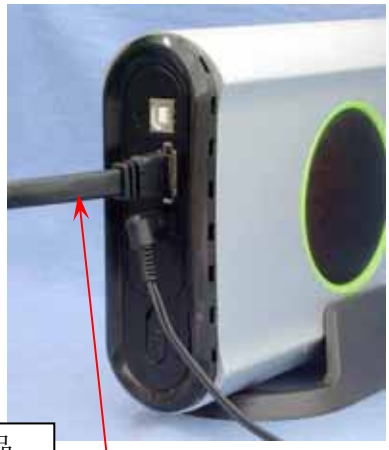


USB ケーブル

eSATA 接続

●eSATA ポートの場合

パソコンの eSATA ポートへ接続します



eSATA ケーブル

●SATA ポートの場合

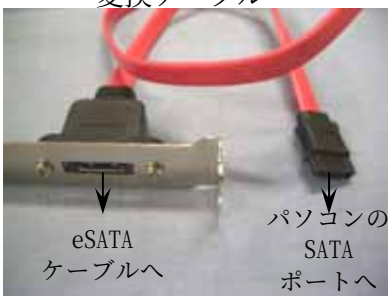
本製品付属の SATA to e-SATA 変換ケーブル

パソコンの SATA ポートへ接続します

DC 電源アダプタ

DC 電源ケーブルを本体の DC-IN に挿入します。

SATA to e-SATA 変換ケーブル



４．ソフトウェアの組込み

４－１、eSATA

本製品のeSATAインターフェイスは各OS共ソフトウェアの組み込みは無用です。但しご利用される全てのOSにおいて、マザーボードのeSATAポートやご使用のeSATAカードが正しく認識されていて、問題なく動作している必要があります。

※eSATAポートやeSATAカードに関しましては、各メーカーに問合せ願います。

４－２、USB

付属 8cmCD、ドライバ

本製品のUSBインターフェイスは、Windows Vista/XP/2000/MEではWindowsの持っているドライバを使用しますので、接続するだけで自動認識します。Windows98SEの場合はドライバのインストールが必要になりますので、以下の方法でインストールしてください。

※Windows98DriverはWindows98SE以外では使用しないでください。他のOSで使用しますとOSに悪影響を与える場合があります。

1、付属のドライバCDを光学ドライブにセットしますと、自動的にインストール画面が開きます。その後For S-ATA側のWindows98Driverをクリックすると、Setup JMicron USB ****が出ますので、OKをクリックします。

2、その後本製品を接続すると、ドライバのインストールが開始され、自動的に完了します。

（途中でWindows98SEのCDを要求してくる場合が有りますので準備してください）

【注意】

★本製品のeSATA及びUSBインターフェイスはどちらか片方を接続してご使用ください。双方同時に接続いたしますと、故障などを引起こす恐れがあります。

★本製品を取外す場合。USB接続での使用後は、Windowsの取外し処理を実行し“安全に取外す事が出来ます”のメッセージが出てから取外してください。それ以前に取外しますと、HDD・本製品・データなどの破損を招く恐れがあります。eSATA接続で取外しアイコンがない場合は、データアクセスが無い事をアクセスランプやPC側の画面・ランプなどで確認の上、取外してください。

★新品のHDD・未使用のHDDなどは、初期化・領域の確保(ディスクの管理メニュー内にて)やフォーマットが必要になります。フォーマットが済んでいませんと認識しません。又、WindowsME,98SEはNTFS形式に対応していませんので、HDD内にあるNTFSは認識しません。

※詳細はご使用中の各メーカーのマニュアルをご確認いただくか、各メーカーにお問合せ下さい。

★本製品は5V+12V系HDD対応となっております、3.3V系が必要なHDDでの動作は未確認です。

★本製品の設置は縦置きスタンドを使用し、平坦な安定した場所でご使用ください。又、スタンドを使用せずに平に置く場合は、吸気口を上側にして塞がないよう注意してください。

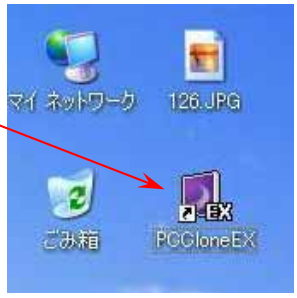
★本製品は電源ONの間、排気口から常に若干の温風が出ていますが、もし温風が出なくなりましたらファンの故障が考えられます。そのまま使用を継続されますとHDDが過熱する場合がありますので、使用を中止して弊社サポートセンターまで修理を依頼願います。（保証対象外の要因や保障期間後は有償修理となります）

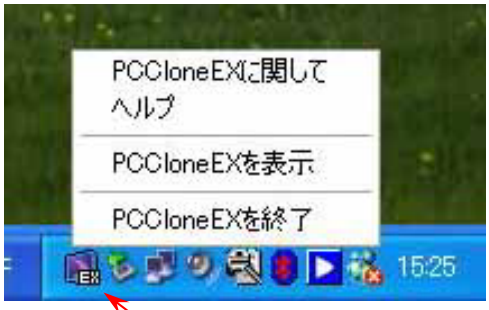
５．バックアップ機能アプリケーション（USB接続時のみ有効）

５－１、アプリケーションのインストール

PCの光学ドライブに付属CDをセットすると右の画面が現れます。矢印をクリックするとインストールを開始しますので、その後はPC側の要求通りに進み、再起動の要求に従い再起動します。

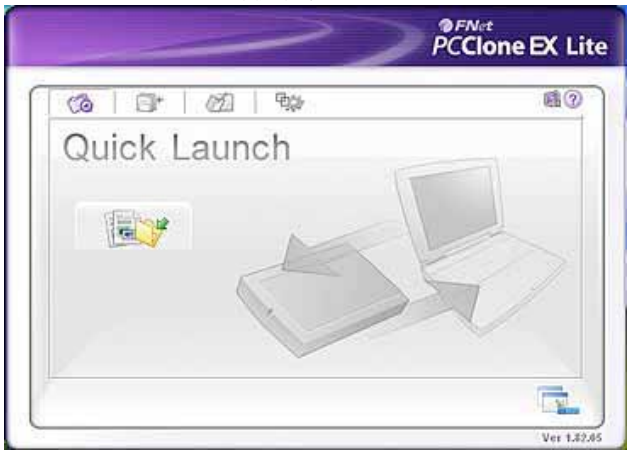
インストールが完了すると PCCIoneEX のアイコンが出現します。このアイコンをダブルクリックするとタスクバーにショートカットができ、下の設定画面が開きます。





タスクバーにできたショートカット。
終了はここを右クリックして、
PCCIoneEX の終了をクリックします。
（右の画面に“ × ”“ 閉じる ”はありません）

設定画面

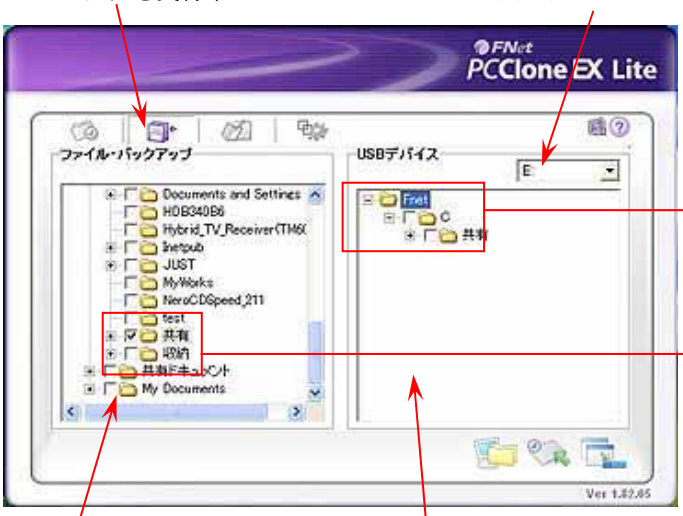


5－2、バックアップディレクトリの指定

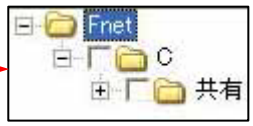
本製品側のHDDにバックアップする、PC側のディレクトリを指定します。

このタグを実行中

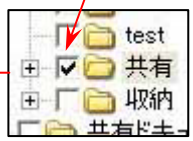
本製品のドライブレター



初回バックアップ以前は何も表示されません。
初回のバックアップ作業を終わると、PC 側にチェックを入れたディレクトリと、その上の階層のコピーが本製品側の“ FNet ”内に表示されます。



バックアップする PC 側のディレクトリにチェックを入れます。
複数選択が可能です。

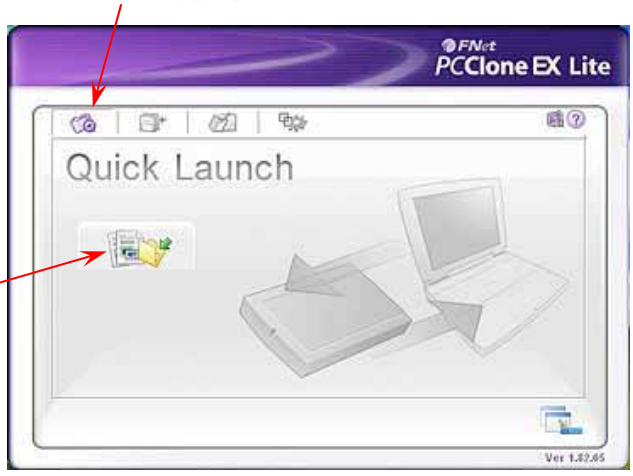


PC 側のディレクトリ一覧　　本製品側のディレクトリ一覧

5－3、バックアップの実行

バックアップの実行は、バックアップアプリケーションを起動させた後で、製品正面のバックアップボタンを押すか、以下の画面のアイコンをクリックするかの二通りの方法があります。

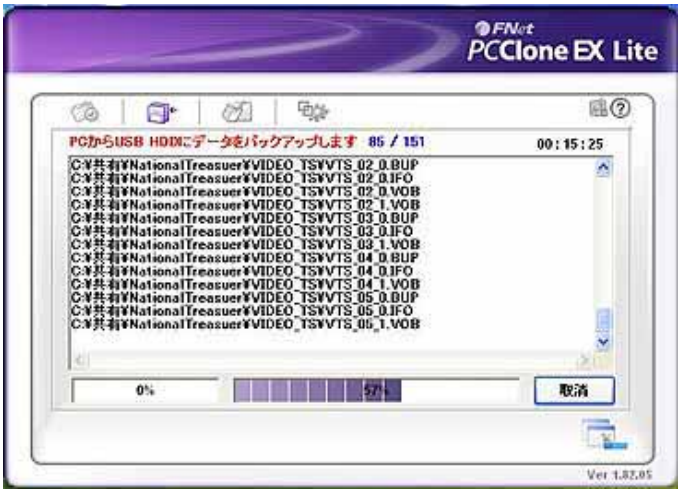
このタグを実行中



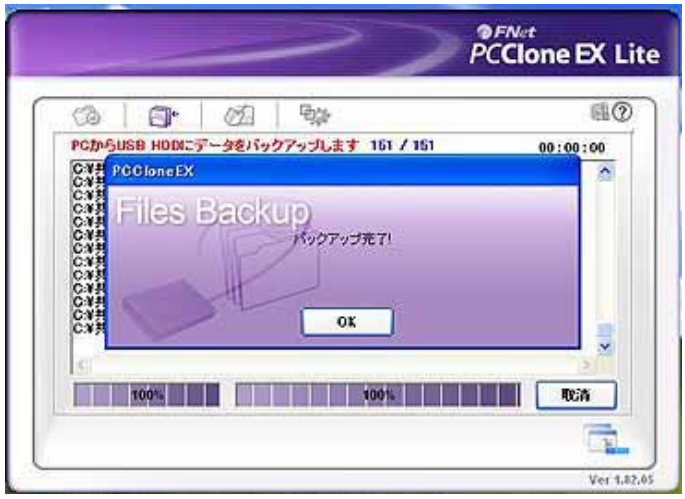
バックアップホルダなどを設定後、このアイコンをクリックすると、バックアップするか聴いてくる画面が開くので、その中の実行ボタンをクリックするとバックアップが開始されます。
製品正面のバックアップボタンを押しても同様なバックアップが実行されます。

バックアップ進捗状況。ボタン・画面どちらから実行しても
タスクバーの上に表示されます。
PC 環境などにより、この表示が途中で消える場合がありますが、コピーは継続されています。誤って接続を外さないようにしてください。

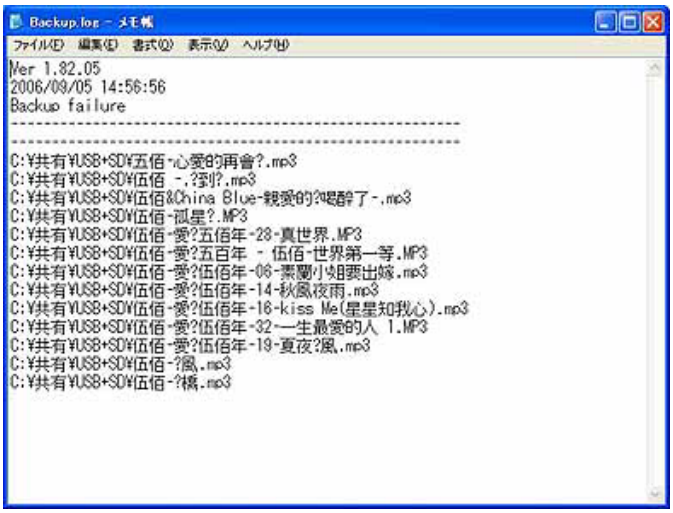
バックアップ進捗状況。こちらは画面上から
実行した場合のみ表示されます。



バックアップ完了画面。OK を押して完了となります。



本アプリケーションは英文と和文のファイル・ディレクトリのみ対応しています。それ以外の言語・記号のファイルやディレクトリ名があった場合は、コピーされずエラーとなります。
その他に、データ通信諸害などが起きてコピーできなかったファイルなども、コピーエラーとして記録されます。
エラーは右画面の様にエラーログとして表示されます。



【注意】

★本製品付属のバックアップアプリケーションは、全ての環境への適合を保証するものではありません。PC環境により正しく動作しない場合がありますので、その場合は当アプリケーションの使用を中止し、PCより削除してください。

★バックアップ機能はUSB接続時のみ使用可能です。eSATA接続時には使用できません（反応しません）

★本アプリケーションは和文と英文のディレクトリ・ファイル名のみ対応しています。それ以外の言語はコピーエラーとなり、バックアップ完了後エラーログとして表示されます。

★バックアップ機能とは、PC側で作成・或いは上書きしたファイルの格納されているディレクトリを予め指定し、そのディレクトリを本製品に内蔵したHDDに、同じ階層のディレクトリとしてコピーするものです。

★バックアップ機能の性格上、ドライブレター（C ドライブ、E ドライブなどの順位）を変えないようご使用ください。特にカードリーダや HDD 外付け機器などをご使用される場合は、ドライブレターが変わる場合がありますのでご注意をお願いします。もしドライブレターが変わった場合はバックアップディレクトリの設定をやり直す必要があります。